

令和2年9月29日
第1回スポーツ推進審議会 報告事項 資料1
スポーツ推進課

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策1 生涯スポーツ活動の充実

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等を中心として地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標と達成状況（令和元年度実績）

評価内容	令和元年度	達成状況	
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：H30 110.2%>	90%以上に する。	○	105.7%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する 会員数 <現状値：H30 24,743人>	26,300人以上に する。	△	25,228人

目標を達成するための事業等

(1) スポーツ活動の普及推進

① スポーツ推進委員の活動促進

- ・ 小学校の課外活動等でのニュースポーツ … 81回、延べ4,871人参加
- ・ 地域での健康体操や市民エクササイズ … 31回、延べ1,031人参加
- ・ 市民向けの体力測定会の運営補助（反復横跳び、上体おこし等） … 8会場、延べ190人参加

② 子どもの健康・体力づくり運動の開催

- ・ 上越教育大学から専門指導者を招聘し、子供の健康・体力づくり運動に携わる指導者を養成するための講習会と、親子を対象とした運動教室を開催 … 2回、指導者37人、親子66組133人参加
- ・ 生涯スポーツ指導員が保育園や小学校に出向き、体力づくり運動を指導 … 34回、1,591人参加
- ・ 市民が幼少期から健康と体力づくりに取り組めるよう、指導者養成講習会や親子運動教室の内容や研究・成果をまとめた「運動あそびプログラム」を令和2年2月に策定し、市内施設・団体等に配布

【運動あそびプログラム配布実績】

作成物	作成部数	主な配布先	
運動あそびプログラム (A5・A1版)	各200冊	子育て関連施設	76施設
		社会教育施設	25施設
		総合型地域スポーツクラブ等	12団体
		スポーツ推進員等(個人)	16人
		他県幼稚園等	13施設

③ スポーツ少年団等の活動支援

- ・ 市スポーツ少年団による青少年の育成活動を支援（自主事業、交流会、地区大会、県大会の主管事業に係る経費を補助） … 交付率 100%
- ・ 民間施設を借り上げて活動しているアクティブスポーツ団体を支援 … 交付率 100%

④ 障害者スポーツ・生涯スポーツ体験イベントの開催

- ・ 障がい者スポーツや生涯スポーツの理解促進に向け、上越市スポーツ推進委員会、上越市レクリエーション協会、上越市身体障害者連絡協議会の3団体が連携し、ニュースポーツ体験交流会を開催 … 11月9日開催、33人参加

(2) 市スポーツ協会、各種スポーツ団体への支援

① スポーツ大会・教室等の開催及び支援

- ・ 高田城ロードレース大会（6月2日開催、参加者数2,507人） … 交付率 100%
- ・ ビーチバレーボール大会（7月21日開催、参加者数206人） … 交付率 100%
- ・ ビーチラグビー大会（8月24日、25日開催、参加者数200人） … 交付率 100%
- ・ 新潟県駅伝競走大会（10月20日開催） … 交付率 100%
- ・ 上越市民体育祭（9月から12月中旬まで競技ごとに随時開催） … 交付率 100%
- ・ 居多まつり武道大会（8月20日開催、参加者数200人） … 交付率 100%
- ・ 市スポーツ協会加盟団体による各種教室の開催を支援 … 交付率 100%

② えちご・くびき野100kmマラソンの開催準備

- ・ 令和2年10月開催に向けた準備 … 交付率 100%

③ 上越市スポーツ協会への支援

- ・ スポーツ振興の中核組織として安定した活動を可能にするための運営費を補助 … 交付率 100%

④ 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- ・ ドイツのホストタウンとして、トランポリンチーム及びパラリンピック柔道チームの合宿を受け入れ、市内の児童生徒を含む市民との交流事業を実施した。
- ・ 上越市ホストタウンサポーター制度を創設し、市民が自らスポーツ活動に参画できる機会を提供 … 登録者120人

(3) 総合型地域スポーツクラブの育成及び支援

① 研修会の開催

- ・ 上越育大学から講師を招き、発達障害等の個性を理解し、個性に合わせたスポーツとの関わり方や指導方法に関する講義を実施 … 9月8日開催、28人参加
- ・ 総合型地域スポーツクラブ上越地区研修会として、一般財団法人日本ボッチャ協会普及指導員を講師に招聘し、ボッチャサポーター養成講習会を上越SCネット（頸城・大潟・柿崎・三和のスポーツクラブから成る連絡協議会）と協働で開催 … 9月8日開催、32人参加

② 活動実態の把握

- ・ 各地域のスポーツ活動の現状を把握し、実情に即した支援の在り方を検討するため、令和元年8月2日（火）から8月9日（金）にまで12地区を巡回し実態調査を行った。

【主な意見】 ○ 地域の団体と連携がうまくいかず、互いに活動内容が重複している

○ 人材不足や財源不足、世代交代等が進まずクラブ自体が弱体化してきている

③ 総合型地域スポーツクラブ未設置区域の支援

- ・ 地域で望まれるスポーツイベントやニーズの聞き取りを実施（清里区：8月2日、吉川区：8月5日、大島区：8月7日、牧区：8月8日）

【主な意見】 ○ ウォーキングしている高齢者が多く、公民館事業等の健康体操には需要がある。

○ 若年層のスポーツ推進は、周辺地域と一緒に考えるべきだと思う。

令和2年9月29日
第1回スポーツ推進審議会 報告事項 資料1
スポーツ推進課

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策2 競技スポーツの発展

□ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

□ 成果指標と達成状況（令和元年度実績）

評価内容	令和元年度	達成状況	
中高生の北信越大会の出場者数及び出場率 〈現状値：H30〉 283人 2.7%	出場者数 155人 出場率 1.4%以上にする。	○	出場者数 295人 出場率 2.8%
小・中高生の全国大会出場者数及び出場率 〈現状値：H30〉 297人 1.4%	出場者数 120人 出場率 0.55%以上にする。	○	出場者数 176人 出場率 1.58%
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：H30〉 148人	103人以上にする。	○	延べ出場者数 140人

目標を達成するための事業等

(1) スポーツ競技力の向上及びアスリート育成強化事業の推進

① ジュニアトップアスリート育成強化補助金

- 市スポーツ協会のジュニアトップアスリート育成強化指定競技（体操、バレーボール、野球、陸上、山岳、スキー）において、全国・世界で活躍できるトップアスリートを育成するために、市スポーツ協会及び学校関係者等と連携をしながら、年齢や学校の枠を超えた一貫指導体制を整備することを通して、ジュニア選手の育成強化を行うための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（育成強化委員会の開催、指導者等の配置、練習会・競技会への参加）
… 交付率 100%（交付確定額：2,448千円）

② 地域ジュニアスポーツクラブ育成事業補助金（県）

- 県の指定競技（空手道）において、全国・世界で活躍できるトップアスリートを育成するために、市スポーツ協会及び学校関係者等と連携をしながら、年齢や学校の枠を超えた一貫指導体制を整備することを通して、ジュニア選手の育成強化を行うための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（育成強化委員会の開催、指導者等の配置、練習会・競技会の参加）
… 交付率 100%（交付確定額：600千円、内訳：県補助金 324千円、市補助金：276千円）

③ スポーツアスリート育成強化事業補助金

- 上越市を拠点に活躍できるアスリートを育成・支援するための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（指導者の招請、強化試合、全国大会への参加）
… 交付率 57.5%（交付確定額：1,209千円）
※交付率が低い理由として、新型コロナウイルス感染症に伴う全国大会数が減少したことによるもの。

④ ジュニアスポーツクラブ補助金

- ジュニア層のスポーツ教室や選手強化等を行うための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（各種強化活動、教室、大会への参加）
… 交付率 100%（交付確定額：1,527千円）

⑤ スポーツ活動サポート事業

- 小学校：陸上競技、水泳、ミニバスケットボール、ダンス、カヌーなどの課外活動に外部指導者を派遣 … 延べ 236回
- 中学校：バレーボール、サッカー、野球、陸上競技、剣道などの部活動に外部指導者を派遣 … 延べ 1,177回
- 地域：NPO 法人さんわスポーツクラブ … 延べ 4回

⑥ スポーツ振興奨励金

- 国際大会や全国大会などに出場する優秀な選手等に対して、奨励金を交付し、選手等を奨励するとともに、地元選手の活躍により、市民のスポーツに対する意識の高揚を促進し、スポーツ活動の振興を図る。 … 交付件数 187件

⑦ 国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会の上越市出場選手壮行会の開催

- 国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会に出場する選手を激励するとともに、市民のスポーツ活動に対する機運の醸成を図る。
○9月26日開催：出場選手総勢 24人（国民体育大会：9種目 22人、全国障害者スポーツ大会：2種目 2人）

(2) 指導者養成の推進

① 上越市スポーツ指導者養成事業補助金

- 指導者を対象とした講習会を実施し、資質及び技術向上を図るとともに、模範となる優秀選手や指導者を顕彰し、スポーツに対する市民意識の高揚を促進するための活動に要する経費の一部に対して補助金を交付する。（各種会議・講習会の開催等）
… 交付率 100%（交付確定額：880千円）

② 日本体育大学連携事業

- 平成27年度に市と日本体育大学が締結した「体育・スポーツ振興に関する協定」に基づき、日本体育大学から指導者を招き、バレーボールと陸上競技の2種目の練習会及び指導者クリニックを開催した。
○バレーボール：7月7日開催、参加者数は中学生 72人、高校生 78人及び指導者 30人
○陸上競技：7月28日開催、参加者数は中学生 132人及び指導者 19人

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策3 スポーツ環境の整備

□ 目標

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

□ 成果指標と達成状況（令和元年度）

評価内容	令和元年度	達成状況	
体育施設（体育館）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 22,951人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	○	24,006人/施設
体育施設（野球場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 7,826人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	×	6,349人/施設
体育施設（多目的広場）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 5,958人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	×	5,025人/施設
体育施設（テニスコート）の1施設当たりの年間延べ利用者数 〈現状値：H23～27平均〉 6,370人/施設	H23～27平均実績の利用者数を上回る。	○	6,793人/施設

目標を達成するための事業等

(1) 体育施設の安全性や快適性の確保

施設名	実施内容	実績
上越勤労身体障害者体育館	多目的トイレ改修工事	令和元年12月4日（完了）
上越総合運動公園テニスコート	テニスコート人工芝張替工事	令和元年12月10日（完了）
高田公園野球場	グラウンド内野整備工事	令和元年9月7日（完了）
清里スポーツ公園グラウンド	防球ネット設置工事	令和元年9月6日（完了）
三和体育館	駐車場舗装修繕工事	令和元年11月19日（完了）
上越体操場「ジムリーナ」	新築工事	令和元年11月30日（完了）
大潟運動場	トイレ解体撤去工事	令和元年7月8日（完了）
清里スポーツセンター	駐車場舗装修繕工事	令和元年9月18日（完了）
高田公園第3庭球場	照明設備修繕工事	令和元年9月13日（完了）
浦川原体育館	駐車場安全策設置工事	令和元年9月3日（完了）
陸上競技場	西側スタンド土止め工事	令和元年11月22日（完了）
高田スポーツセンター	競技場照明修繕工事	令和元年10月21日（完了）
柿崎総合体育館	吸収式冷温水器水漏れ修繕工事	令和元年7月11日（完了）
オールシーズンプール	非常照明器具取替修繕工事	令和元年7月24日（完了）

(2) 体育施設の指定管理の状況

■一般財団法人上越市スポーツ協会の管理施設

施設名	期間	自主事業
上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園（野球場、多目的運動広場、庭球場）、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田公園（弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場）、上越市今泉スポーツ広場（野球場、多目的広場）、上越総合運動公園（テニスコート）、上越市教育プラザ体育館	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	・健康体操教室 ・ヨガ教室 ・ランニング教室 ・各種スポーツ大会の開催

■新東産業株式会社の管理施設

施設名	期間	自主事業
上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園（野球場、グラウンド、人工芝グラウンド）、上越市柿崎屋内水泳プール	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	・さわやかフィットネス教室 ・いきいき健康体操&ストレッチ教室 ・男性のための体操教室 ・トランポピクス教室 ・初心者ジョギング講座 ・ドーム杯スポレック大会 ・ドーム杯硬式テニス大会 ・幼児・児童水泳教室

■株式会社新潟ビルサービスの管理施設

施設名	期間	自主事業
オールシーズンプール	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	・水泳教室（短期含む） ・上越ASP水泳競技大会 ・親子水遊び体験教室 ・わんぱく水遊び天国 ・新春初泳ぎレクリエーション ・一日体験教室 ・スイムスキルアップ教室

※その他市直営施設：41施設

(3) 体育施設・設備の廃止

施設名	施設区分	実施日
安塚和田スポーツ公園グラウンド	照明設備	令和2年3月31日 廃止
大島中学校屋外運動場照明設備		
板倉運動広場		
三和中学校屋外運動場		
中郷総合運動公園庭球コート	テニスコート	

第2次総合教育プラン後期実施計画に基づく令和2年度の取組状況（8月末時点）

令和2年9月29日
第1回スポーツ推進審議会 報告事項 資料2
スポーツ推進課

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策7-1 生涯スポーツ活動の充実

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等と連携して地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標

評価内容	令和2年度
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：R1・105.7%>	100%以上
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数 <現状値：R1・25,228人>	26,400人以上

□ 目標を達成するための事業等

(1) スポーツ活動の普及推進

① 子どもの体力づくり運動の普及

多くの市民に幼児期からの健康と体力づくりに取り組んでもらうため、令和2年2月策定した「運動あそびプログラム」の普及、展開を行う。

- ・保育士やスポーツ推進委員等を対象とした指導者向け講習会（検討中）
- ・市ホームページへ動画の掲載（随時更新予定）
- ・公立保育園に通う園児の保護者向けに発行されている「ほけんだより」での周知（11月を予定）

② スポーツ推進委員の活動を促進

- ・スポーツ推進委員と連携した取り組みの充実（※1）

活動内容		実施回数	参加者数(延べ)
スポーツ教室	ニュースポーツ教室など	6	121
出前講座	地域での健康体操など	2	27
体力測定会	市民向け体力測定会（※2）	中止	中止

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月30日までスポーツ推進委員の活動を中止。

※2 県より令和2年度の実施を中止する旨の連絡があったため、それに準じて市での実施も中止。

③ 上越体操場ジムリーナを活用したスポーツ活動の推進

- ・ジムリーナの設備等を活用したスポーツ教室4教室を7月から開催している（ノルディックウォーキングは8月から開催）。

【開催実績】

教室名	開催日時		開催回数	参加者(延べ)
トランポボックス	毎週火曜日	午前9時～10時	7回	50人
		午前10時30分～11時30分		37人
スローエアロビック	毎週金曜日	午前10時30分～11時30分	7回	43人

教室名	開催日時		開催回数	参加者(延べ)
	ストレッチ体操	毎週水曜日		
毎週木曜日		午前10時～11時	6回	31人
ノルディックウォーキング	毎週水・金曜日	午前9時30分～11時00分	4回	23人

④ 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- ・2021年に延期された本大会に向け、ドイツ競技団体と合宿日程の調整を行うとともに、本市における合宿等の交流事業を実施できるよう、国による新型コロナウイルス感染症対策調整会議等の動向を注視しながら新型コロナウイルス感染症対策について検討を進めている。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、集客イベント等は実施できないものの延期となった期間を活用し、学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進、SNSによる情報発信、オンラインによる交流活動などを通じて、本大会に向けた機運をつなぐ取組を実施している。

⑤ 全国高等学校総合体育大会の開催準備

- ・令和3年7月24日（土）から8月20日（金）開催予定の令和3年度全国高等学校総合体育大会の開催に向け準備を進める。 【市開催種目】体操（体操競技）、弓道

(2) 市スポーツ協会、各種スポーツ団体への支援

① スポーツ大会・教室、各種団体等の支援（補助金・交付金）

- ・高田城ロードレース大会（中止） …… 交付率 36.8%
- ・ビーチバレーボール大会、ビーチラグビー大会、新潟県駅伝競走大会、居多まつり武道大会（各大会中止） …… 各大会への交付率 0%
- ・上越市民スポーツ大会 …… 交付率 100%
- ・えちご・くびき野 100kmマラソン大会（中止） …… 交付率 8.6%
- ・上越市スポーツ協会への支援 …… 交付率 50%
- ・スポーツ少年団・アクティブスポーツ団体への支援 …… 交付率 71.7%

(3) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援（スポーツ推進課）

- ・総合型地域スポーツクラブ研修会について、11月頃に開催できるよう研修内容を検討中。
- ・総合型地域スポーツクラブ未設置区域である、牧区と大島区を対象に市主催教室である「いきいきスポーツ教室」を開催している。

【牧区】7月～10月の毎週火曜日実施

ノルディックウォーキング、水中ウォーキング、トランポボックス

【大島区】10～11月の毎週金曜日実施予定

ノルディックウォーキング、スマイルボウリング、グラウンドゴルフ、ボッチャ

【これまでの取組結果を踏まえた課題】

- ・運動あそびプログラムの定着と活用に向け、保育士等を対象とした研修会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で未実施となっている。今後、運動あそびプログラムの周知や利用促進に努めていく必要がある。
- ・昨年度にスポーツ推進委員会、身体障害者連絡協議会、レクリエーション協会が連携して「ニュースポーツ体験会」を行った。参加者、主催者ともに一定の成果があったと感じており、こうした異なる団体の連携によるスポーツ振興を定着させ、様々な人がスポーツを通じた交流を図ることができるような取り組みについて、手法や組織づくりが必要である。

令和2年9月29日
第1回スポーツ推進審議会 報告事項 資料2
スポーツ推進課

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策7-2 競技スポーツの発展

□ **目標**

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

□ **成果指標**

評価内容	令和2年度	8月末時点
中高生の北信越大会と小・中・高生の全国大会出場者数 〈現状値：R1・471人〉	464人以上	0人
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における全国大会出場者数 〈現状値：R1・140人〉	103人以上	0人

□ **目標を達成するための事業等**

スポーツ競技力の向上、アスリート育成強化の推進（スポーツ推進課）

① 年齢や学校の枠を超え指導体制によるトップアスリートの育成（4,575千円）

市スポーツ協会が指定するジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技団体と新潟県が指定する地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業指定競技団体をはじめ、各種競技団体からオリンピックを始めとする国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成強化に取り組む。

- ・ジュニアトップアスリート育成強化事業（補助事業・2,448千円）・・・ 交付率 66%
 指定競技種目：体操、陸上、バレーボール、山岳、硬式野球、スキー
 活動状況等：各競技6月から強化練習等を再開（指定強化選手123人）
 大会実績：野球は9月27日から新人戦、体操・バレーボール・山岳は10月に大会が実施予定
- ・地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業（県補助事業・600千円）・・・ 交付率 100%
 指定競技種目：空手道
 活動状況等：6月から強化練習を再開（指定強化選手61人(小学性35人、中学生10人、高校生16人)、指導者7人）
 大会実績：新潟県高等学校体育大会出場(8月開催、個人組手、団体・個人形)
- ・ジュニアスポーツクラブの育成事業（補助事業・1,527千円）・・・ 交付率 66%
 各ジュニアスポーツクラブの活動を6月から再開し、各種教室等を開催している。

② 上越市を拠点としたスポーツアスリートの育成（2,100千円）

上越市を拠点にして国際的、全国的に活躍できるアスリートの育成に取り組む。
 ・スポーツアスリート育成強化事業（補助事業・2,100千円）・・・ 交付率 50%

6月27日(土)、28日(日)に外部指導者を招いて、上越マリンドライヴ（ビーチバレー）の強化練習会を実施。

③ スポーツ活動サポート事業（4,761千円）

小学校の課外活動、中学校の運動部活動に専門的な技術指導ができる指導者を派遣し、児童生徒の競技力の向上に取り組む。

【スポーツ活動サポート事業実施状況】

	依頼校数	派遣依頼種目	派遣数
小学校	50校	陸上・水泳・カヌー・ダンス・スキー	2回
中学校	17校	アルペン・クロスカントリースキー、サッカー、柔道、新体操、ソフトテニス、卓球、ダンス、軟式野球、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、陸上、剣道	296回

④ スポーツ振興奨励金（4,390千円）

国際大会や全国大会等に出場する当市に居住する優秀な選手等に対して奨励金を交付し、市民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの推進を図る。

・奨励金交付実績：0件

⑤ ジュニア選手指導者の指導力の向上（1,169千円）

市スポーツ協会や各競技団体と連携した取組のほか、日本体育大学から競技指導者を招致し、指導者クリニック等を開催し、指導者の技術力向上に取り組む。

・スポーツ指導者養成事業（補助事業・880千円）・・・ 交付率 100%

8月から指導者講習会等が実施されており、9月以降も指導者講習会や競技役員講習会等が予定されている。

活動状況等：10団体中2団体が実施（4団体は今後実施予定、2団体は検討中、2団体は中止）

・日本体育大学連携事業（289千円）

バレーボール、陸上競技の指導者を招致し、練習会と指導者クリニックを開催する。

陸上競技：中止

バレーボール：令和3年2月の実施に向け調整中

※各補助事業は概算払いで交付しており、年度末に補助事業実績に基づき補助金の精算を行う。

【これまでの取組結果を踏まえた課題】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、北信越大会や全国大会が相次いで中止となったため、成果指標においては実績がない状況である。

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策7-3 スポーツ環境の整備

□ **目標**

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

□ **成果指標**

評価内容	令和2年度	達成状況
体育施設の1施設当たりの年間延べ利用者数		
【体育館】 〈現状値：H27～R1 平均〉 24,031人/施設	直近5年の平均利用者数以上	2,336人
【野球場】 〈現状値：H27～R1 平均〉 6,947人/施設	直近5年の平均利用者数以上	762人
【多目的広場】 〈現状値：H27～R1 平均〉 4,897人/施設	直近5年の平均利用者数以上	772人
【テニスコート】 〈現状値：H27～R1 平均〉 5,222人/施設	直近5年の平均利用者数以上	1,175人

□ **目標を達成するための事業等**

(1) 体育施設の安全性や快適性の確保（スポーツ推進課）

施設名	実施内容	実施状況
上越市総合体育館	施設の長寿命化を図るための工事設計	令和3年2月完了予定
高田城址公園陸上競技場	第2種陸上競技場公認検定に向けた工事	令和3年3月完了予定
高田城址公園第一庭球場	庭球場コートの整備	令和2年12月完了予定
スポーツ公園庭球場	防球ネットの更新	令和3年3月完了予定
上越総合運動公園	テニスコート浄化槽修繕	令和2年7月完了
安塚B&G海洋センター	プール上屋シート窓取替工事	令和2年6月完了
浦川原体育館	西側外壁の全面張替工事	令和3年3月完了予定
牧プール	管理棟更衣室出入口枠修繕工事	令和2年5月完了
柿崎屋内水泳プール	ろ過装置操作弁修繕工事	令和2年6月完了
大潟体育センター	外壁の補修工事	令和2年10月完了予定
吉川区体育館	アリーナ照明修繕工事	令和3年3月完了予定
中郷総合体育館	駐車場舗装面の修繕	令和3年3月完了予定
板倉農業者トレーニングセンター	体育室床面塗装工事	令和3年1月完了予定
三和西部スポーツハウス	防球ネット取替修繕工事	令和2年7月完了

(2) 体育施設の指定管理の状況

施設名	管理者	期間	自主事業
上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園（野球場、多目的運動広場、庭球場）、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田公園（弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場）、上越市今泉スポーツ広場（野球場、多目的広場）、上越総合運動公園（テニスコート）、上越市教育プラザ体育館	一般財団法人 上越スポーツ協会	5年間 (平成31年4月1日から令和6年3月31日まで)	・健康体操教室 ・ヨガ教室 ・ランニング教室 ・各種スポーツ大会の開催
上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園（野球場、グラウンド、人工芝グラウンド）、上越市柿崎屋内水泳プール	新東産業株式会社		・さわやかフィットネス教室 ・いきいき健康体操&ストレッチ教室 ・男性のための体操教室 ・トランポピクス教室 ・初心者ジョギング講座 ・ドーム杯スポレック大会 ・ドーム杯硬式テニス大会 ・幼児・児童水泳教室
上越市立オールシーズンプール	株式会社 新潟ビルサービス		・水泳教室(短期含む) ・上越ASP水泳競技大会 ・親子水遊び体験教室 ・わんぱく水遊び天国 ・新春初泳ぎレクリエーション ・一日体験教室 ・スイムスキルアップ教室

(3) 体育施設の適正配置の方向性

施設名	施設区分	計画
ひさなき運動広場	ゲートボール場、運動広場	令和3年3月31日
清里スポーツ公園テニスコート	テニスコート	
頸城明治野球場	野球場	
大潟町中学校屋外運動場照明設備	照明設備	

【これまでの取組結果を踏まえた課題】

- ・適正な体育施設整備及び維持管理において、破損個所の補修をはじめ、法令改定やルール改正に伴う改修を計画的に進めているが、経年劣化や老朽化による突発的な破損が増加傾向にある。
- ・今後、補修等の増大が想定されることから、施設の安全確保のため、日常管理及び施設点検を徹底する。
- ・令和3年度策定予定の公の施設の再配置計画にかかる体育施設の適正配置の検討を進めるとともに、廃止後の土地の利活用の検討及び廃止した施設の安全管理の徹底が必要である。

令和2年9月29日(火)
第1回スポーツ推進審議会 報告事項 資料2
スポーツ推進課

1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた市の対応状況

(1) イベントや講習会の中止・延期（市HP・報道機関への情報提供）

- 2/27 ジムリーナ無料体験会（3/1）の延期
- 2/27 運動あそびプログラム指導者講習会（2/28）の延期
- 2/28 ジムリーナトライアルイベント（青少年対象教室2/29～3/22）の中止
- 2/28 第36回リージョン杯争奪高等学校バレーボール大会（3/28～3/30）の中止
- 2/28 ジムリーナトライアルイベント（一般対象教室3/3～3/31）の中止
- 3/2 レルヒカップスキー&スノーボード大会（3/14）の中止
- 3/6 米山山麓ロードレース大会（4/19）の中止
- 4/16 高田城ロードレース大会（6/7）の中止
- 5/14 えちご・くびき野100kmマラソン（10/11）の中止
- 7/21 第37回上越市ファミリー綱引大会（11/22）の中止

(2) 学校体育施設の利用休止

- 2/28 小・中学校の臨時休校に伴い、3/4～春休みまでの期間の利用休止
- 3/20 利用休止を3/31まで延長
- 3/31 利用休止を4/5まで延長
- 4/3 学校体育施設は、児童生徒が日常的に接する設備であり、多数の人が利用することによる感染拡大防止のため、当面の間の休止を継続
- 5/28 6/1から利用の再開（使用後の消毒等、感染拡大防止対策に取り組むこと）

(3) 小・中・高校生を対象とするスポーツ団体

- 2/28 小・中学校の臨時休校に伴い、3/4～春休みまでの期間、小・中・高校生を対象とするスポーツ団体の活動の自粛を要請
- 3/20 活動自粛要請期間を3/31まで延長
- 3/31 活動自粛要請期間を4/5まで延長
- 4/3 活動の自粛要請を4/5で終了する
- 4/9 4/7に国が発令した緊急事態宣言を受け、市立小中学校の部活動等を4/9～5/6まで中止することに伴い、同期間について、自粛を要請。
- 5/8 国が発令した緊急事態宣言の延長を受け、課外活動及び部活動を5/31まで中止することに伴い、同期間について自粛要請期間を延長
- 5/28 活動自粛要請期間を5/31で終了する（感染拡大防止対策に取り組むこと）

(4) その他中止・延期となったイベント等（スポーツ関係）

- 4/1 東京2020オリンピック（7/24～8/9）・パラリンピック（8/25～9/6）の延期
- 4/17 スポーツ推進委員の派遣（出前講座）を6月末まで中止

2 スポーツ活動再開にあたってのガイドライン

(1) 新しい生活様式（新型コロナウイルス感染症対策専門会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」）

- 感染防止3つの基本 ①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い
- 日常生活を営む上での基本的な生活様式 手洗い・手指消毒、「3密」の回避（密集、密接、密閉）

(2) イベント等の開催基準（イベント等開催の段階的緩和）（内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室）

※当面11月末までの制限（9/18現在）

- 全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや参加者の把握が困難なものについては、11月末までは、中止を含めて慎重に検討する。
- それ以外のものは、11月末までは、「新しい生活様式」や業種ごとに策定されるガイドライン（「業種別ガイドライン」）に基づく適切な感染防止策を講じた上で、収容人数が1万人以下のときは5千人、1万人超のときは収容人員の50%を上限とするほか、大声での歓声・声援などがないものは収容率を50%以内から100%以内に緩和するとした「イベント等の開催の段階的緩和」を目安に、開催を可能とする取り扱いとする。
- 上限人数に満たないイベントであっても、形態や場所によってリスクが異なることに十分留意する。（密閉空間での大声の発生、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等）。
- その他、適切な感染防止策の実施、参加者の名簿を作成して連絡先の把握。

(3) その他

- 社会体育施設ガイドライン（スポーツ庁）
- スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（公益財団法人日本スポーツ協会）
- 業種別ガイドライン（公益財団法人日本スポーツ協会等）

3 市が実施している新型コロナウイルス感染症防止対策

(1) 体育施設、学校開放

- 概要
利用者に、感染防止対策の徹底と利用者名簿の作成を依頼している。
- 主なコロナ対策
 - ・利用前の検温
 - ・手洗いまたは手指消毒の徹底
 - ・ふき取り消毒
 - ・換気の実施 など

(2) 市主催スポーツ教室 (会場：上越体操場ジムリーナ)

○概要

- ・コロナ対策を講じて開催できる成人向けの教室(トランポボックス、ストレッチ体操、スローエアロビック)を7月から開催した。また、9月以降も順次開催している。

○主なコロナ対策

- ・人数の制限(当初20人の定員を10人に制限)及び間隔の確保
- ・使用用具の消毒及び手指消毒
- ・講師のフェイスシールドまたはマスクの着用
- ・参加者及び講師の教室開始前から教室終了までの体調管理(体温、風邪症状等のを毎回確認)

【市主催スポーツ教室の様子】

- ・人数を制限し、参加者同士の間隔を確保(トランポボックス、ストレッチ体操)

- ・フェイスシールドの着用(講師)



(3) コロナ対策を講じたニュースポーツの展開

○概要

- ・上越地区スポーツ推進委員研修会(妙高・糸魚川・上越)において、コロナ対策を講じたニュースポーツ「上越版ラダーゲッター」の研修会を行った。

○主なコロナ対策(往來のルールと変更した点)

- ・用具の共用をしない
- ・次の人への手による「タッチ」は行わず、声による「エアータッチ」を実施
- ・フェイスシールド及び手袋の着用

○今後の予定

- ・スポーツ推進員の出前講座のメニューに取り入れ、コロナ禍でのスポーツ活動の推進を図る。

【「上越版ラダーゲッター」研修会の様子】



フェイスシールドと手袋を着用



密にならないよう工夫したコート



競技の様子

(4) おうちで運動の紹介

○目的

- ・学校の休校や不要不急の外出の自粛の影響により、運動不足が懸念されることから、自宅で行える運動を生涯スポーツ指導員や地域おこし協力隊が市ホームページ等で発信し、市民へ体力と健康づくりを促す。

○内容・方法

- ・自宅で行えるストレッチ、筋力トレーニング、運動あそび等を写真や動画で紹介
- ・写真と動画を市ホームページ及び動画投稿サイト(YouTube)に掲載
- ・冊子を作成し、市内施設等46施設に配布・設置(8/7~)

○今後の紹介予定

- ・学び愛フェスタでおうちで運動を紹介予定

【おうちで運動の紹介】

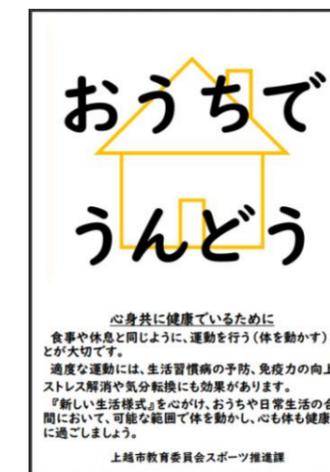
- ・YouTubeでの動画配信



- ・市ホームページでの発信



- ・冊子の作成



4 今後の展開

利用者の健康チェックや施設の消毒など、「新しい生活様式」を取り入れたスポーツ活動の定着を図っていく。

令和2年9月29日(火)
第1回スポーツ推進審議会 議題3資料
スポーツ推進課

令和3年度に向けた課題

1 生涯スポーツの振興について

(1) 子どもの体力づくり運動の普及

【課題】

- ・スポーツ推進課では運動あそびプログラムを市内に普及させ、子どもたちの体力づくりのツールとして、様々な場面で活用されることを目指している。保育園には運動あそびプログラムを配布したが、スポーツ推進委員や市スポーツ協会、他課の事業との連携なども視野に、様々な視点で運動あそびプログラムの定着、活用に向けた取り組みを検討する必要がある。

(2) 総合型地域スポーツクラブ未設置区域への支援

【課題】

- ・地域でのスポーツ活動を振興するためには、各地域における活動団体の存在が重要と考え、まずは、総合型地域スポーツクラブがない地域を対象として、活動母体となる団体が立ち上がるよう、令和2年度からスポーツ推進委員とともにスポーツ教室を実施している。当該スポーツ教室に参加される方々の仲間づくりから始まり、その方々が地域でのスポーツ活動の担い手となるよう、取組を継続していく必要がある。

(3) 多様なスポーツ機会の拡充

【課題】

- ・障害の有無に関わらず、皆がスポーツを行うことができる機会を増やしていけるよう、スポーツ推進委員・上越市身体障害者連絡協議会・上越市レクリエーション協会が連携して令和元年度にニュースポーツ体験交流会を開催した。初の試みとなった事業であったが、参加者、主催側とも一定の成果があったと感じており、こうした各団体の連携によるスポーツ活動が未永く続き、振興していくよう、各団体の連携の在り方や教室の実施方法など今後の展開を検討していく必要がある。

2 競技スポーツの振興について

【課題】

- ・競技力向上に向けた取組として、小中学校の課外活動や部活動に専門的な技術指導を行う指導者を派遣している。また、小中高一貫指導が有効という考えのもと、主にジュニア層を対象に市スポーツ協会が指定した種目の競技団体に対して補助金を交付したり、その他の競技団体にも補助金を交付したりしているが、それら取組の効果、各競技の現状や競技団体のニーズ、改善点等を具体的に把握していない。については、中長期的な視点に立った取組を進めていけるよう、市内選手の競技力向上に向けた課題を整理する必要がある。

3 スポーツ施設の再配置について

【課題】

- ・令和3年度策定予定の公の施設の再配置計画にかかる体育施設の適正配置の検討を進めるとともに、既存施設の適正な維持管理のため、老朽化に伴う修繕費等の維持管理費を見据えつつ、施設の長寿命化を踏まえた施設改修等を検討する必要がある。

4 東京オリンピック・パラリンピックに係る取組について

【課題】

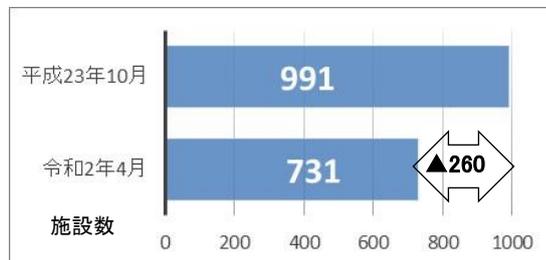
- ・ドイツのホストタウンとして、引き続き東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成に取り組むとともに、2021年の本大会に向け、ドイツの競技団体と協議を行い事前合宿や交流事業の準備を進める。
- ・新しい生活様式を取り入れた新型コロナウイルス感染症対策について、国や県と連携しながら、ドイツチーム及び市民が安全に安心して参加できるように、事業を行う必要がある。

「公の施設の再配置計画」の取組について

1 公の施設の再配置の取組状況と現状と課題について

(1) これまでの取組状況

市町村合併後、公の施設の廃止や譲渡を進め、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和2年4月1日現在、731施設となっています。



(2) 現状と課題

現 状

○人口推計

合併当時21万人であった人口は、減少傾向が続いており、令和27年には、推計で約14万人となる見込み。

(R2.4.1現在の人口：190,042人)

○財源不足

市の財政は、歳出が歳入を上回るため、財源不足を基金の取崩しで補う状況が続く見込み。

(R2～R4年度で49.6億円の取崩しを予定しており、また、R5以降においても収支均衡を図る目途がたっていない。)

○公の施設の状況

- 多くの施設の老朽化に伴う、維持管理経費と更新費用増加の見込み。

(今後40年間の維持・更新費用試算額：約4,325億円)

- 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

課 題

- 人口の減少

- 施設機能の重複する配置

- 施設更新、維持管理に係る財政負担の抑制

- 施設機能の適正な維持

*老朽化する施設に対する計画的な修繕の実施、機能を維持するための複合化(機能集約)

2 公の施設の再配置計画(個別施設計画)について

(1) 公の施設の再配置の必要性

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化がますます進行し、大規模修繕や更新が見込まれる中、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況です。

このような状況の下、今を生きる私たちは、地域の皆さんと共に、子どもや孫など次代を担う世代が今後も安心して暮らすことができる将来を見据え、教育や福祉を始めとした市民生活を支える基礎的なサービスを安定的に提供していくためにも、施設の廃止や機能の集約を行う必要があります。

また、継続すべき施設については、末永く利用していただくため、適切に維持・管理し、長寿命化を図ることとしています。

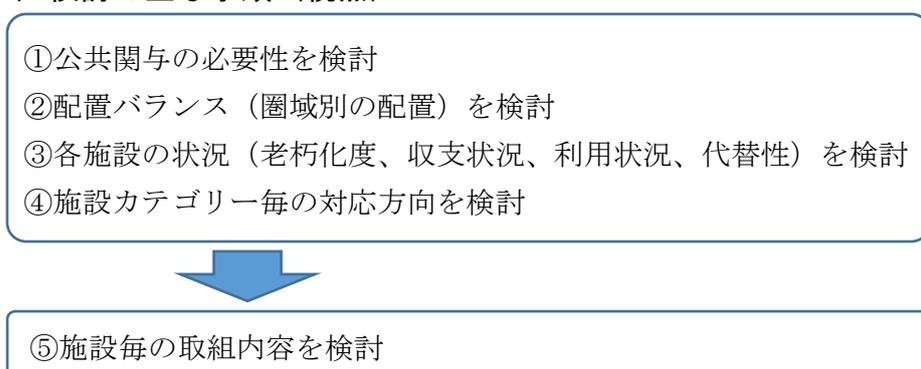
(2) 計画期間

- 令和3年度～令和12年度の10年間とし、令和7年度に見直しを行います。

(3) 公の施設の再配置における取組方針

取組方針	具体的な取組
①人口や財政状況を踏まえ施設の配置を検討	廃止（休止） 用途の変更
②地域の実情を踏まえ施設の配置を検討	機能の集約
③利用状況を踏まえ適切な管理者によるサービス提供を検討	民間譲渡 貸付又は譲渡
④長期にわたり利用促進を図るため計画的な修繕等について検討	施設の長寿命化

(4) 検討の主な手順（視点）



3 スケジュールについて

時 期	内 容
H31. 3～	○ 全 28 区の地域協議会に第 6 次上越市行政改革推進計画の策定に伴い行政改革の取組の概要を説明
R1. 10～11	○ 全 28 区の地域協議会に今後の「公の施設の再配置計画」の取組について説明
R1. 12～R2. 3	○ 地域協議会に公の施設の再配置の取組状況を報告 ○ 関係者との協議（利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等） ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 4～	○ 関係者との協議（協議未了の施設）【施設所管課】
R2. 7～9	○ 地域協議会に関係者との協議に基づき作成した再配置候補施設リストを示す。 【行政改革推進課・施設所管課】 ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 11	○ 再配置計画（案）の作成【行政改革推進課】
R2. 11～R3. 2	○ 所管事務調査（総務常任委員会）【行政改革推進課】 ○ パブリックコメントの実施（計画案の公表）【行政改革推進課】
R3. 3	○ 公の施設の再配置計画（個別施設計画）策定・公表【行政改革推進課】
〈参考〉 【計画策定後】 R3. 4～R13. 3	公の施設の再配置の実施 ○関係者と正式協議（方針決定） ○地域協議会に諮問 ➡ 答申 ○市議会で議決 ➡ 施設の再配置（廃止、譲渡等）

第3回審議会（書面会議）での各委員の質問等に対する回答

第2次総合教育プラン前期実施計画について

施策7-1 生涯スポーツ活動の充実

■高橋委員■

【質問】 少子高齢化・人口減少の中、成果を求めるのではなく、5年後、10年後を見て、地域ぐるみのスポーツ活動をどうサポートしていくか、競技スポーツの裾野をどうひろげていくかを協議していかなくてはならないと思う。そのために、各事業推進団体等への活動実態のヒアリングや教育現場とスポーツ団体との連携を協議していく必要があるのではないか。

【回答】 地域でのスポーツ活動については、スポーツ推進委員の活動や公民館活動などのほか、総合型地域スポーツクラブをはじめとする地域の団体に取り組んでいる。

そのような中、総合型地域スポーツクラブのない地域における活動がより活発になるよう、地域の方との話し合いを経て、現在、牧区と大島区で市主催の「いきいきスポーツ教室」を開催しており、その取組を通じて仲間づくりが進み、活動母体となっていくことを目指している。

競技スポーツについては、その振興に向けて補助金の交付などを行っているが、各競技の現状や競技団体のニーズ、改善点等を具体的に把握し、整理していないことから、今後、中長期的な視点に立った取組を進めていけるよう、競技力向上に向けた課題を整理する必要があると考えている。

■竹原委員■

【質問】 総合型地域スポーツクラブの会員数に差があるのはなぜか。また、総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数について、「さとまるスポーツクラブ」の設立がなかった場合、相当の参加者減となっていたのではないかと。

【回答】 市内の総合型地域スポーツクラブは、その設立時における各地域の考え方や課題により、設置目的や組織体制が異なっている。

そのような経緯があり、市内の総合型地域スポーツクラブには、地域の全世帯を会員とするクラブと希望者のみを会員とするクラブがあることから、会員数に差が生じている。また、少子化・高齢化の急速な進展により、児童数の減少は会員制クラブの会員数の減少に拍車をかけている。

スポーツ推進課では、この間、総合型地域スポーツクラブのない地域でのスポーツ活動の振興を目指し、新しい活動母体が生まれるよう地域の関係者と協議を行ってきたところであり、「さとまるスポーツクラブ」は、そういった協議を経て設立された組織である。

■和栗委員■

【質問】 2月末で目標を達成しているが、高齢者のスポーツに対する意識が高まっているのか。

【回答】 詳細な年齢層の把握まではできていないが、教室等の参加状況から幅広い年齢層の方が参加している。高齢者の方も多く参加いただいている。今後もスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブが地域と連携し、スポーツ教室や健康教室等の企画運営に携わるとともに、地域のまちづくり団体とも連携しながら様々なイベント等に参画していきたい。

■春日委員、和栗委員、川澄委員■

【質問】 令和元年度の取り組みとして、スポーツ推進員、上越市身体障害者連絡協議会、レクリエーション協会の3団体によるコラボ事業を開催した。参加者も幅広い年齢が集まり有意義なものであった。来年度以降も継続したいと思っている。

【回答】 連携3団体の連携が深まるよう取り組みを進めていく。

施策7-2 競技スポーツの発展

■竹原委員■

【質問】 ジュニアトップアスリートの育成強化補助金の文中「年齢や学校の枠を超えた一貫指導体制の整備とあるが、具体的なスポーツ団体名、人数、学校名、どのような指導体制を整備したのか、また、その成果を参考までに知りたい。

【回答】 当該事業は、当初、2020年の東京オリンピックに上越市から参加できる選手の育成を目指し、ジュニアから一貫した指導体制により、世界大会、全国大会への参加が見込まれる団体の中から上越市体育協会（現上越市スポーツ協会）の推薦を受けた「陸上競技、空手道競技、体操競技、バレーボール競技」の4団体を対象に、平成26年度から事業を開始した。

翌年27年度には、世界大会に参加選手を輩出した「山岳競技」、全国大会に出場した「硬式野球競技」が加わり対象団体は6団体となった。

平成28年度にオリンピック選手育成の目的から「全国・世界」で活躍できるトップアスリートを育成することとした。

平成29年度に空手道競技が「新潟県地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業」に採択されたことを受け、当該事業の対象を外れ、新たに上越市発祥のスポーツである「スキー競技」を加え、現在の6団体「陸上競技、バレーボール競技、硬式野球競技、体操競技、山岳競技、スキー競技」となった。

平成30年度において、北信越大会出場の硬式野球競技のほか、空手道競技を含めた6団体は全国大会に出場した実績を残している。

今後、各競技団体の実情・実態を把握しながら、事業の検証も行っていきたいと考えている。

No.	補助金交付 対象競技	人数 (※1)	地域	指導体制及び指導内容
1	陸上	26人 (112人)	主に高田地区	○指導体制：日本陸連コーチの資格を所持している6人のコーチを配置 ○指導内容：陸上競技協会(小中高等学校指導者を含む)を中心とした小中学校児童生徒の強化練習会及び、指導者を招聘し、小中高等学校児童生徒及び指導者を対象とした練習会及び指導者クリニックを実施。一昨年にジュニアオリンピックの男子リレーで優勝するなど実績を上げている。
2	バレーボール	45人 (2,500人)	主に高田地区 (城東、城北)	○指導体制：指導者8名(ヤング連盟所属3名、市内高等学校の教員3名、市内中学校所属の教員2名)を配置 ○指導内容：バレーボール協会(中高等学校指導者を含む)の中学生を強化指定選手に指定し、強化練習会を実施。日本体育大学の指導者と学生を招聘しての中高等学校生及び指導者対象の強化練習会及び指導者クリニック。オリンピック候補の新井選手など多くの選手を輩出している。
3	硬式野球	19人 (20人)	主に高田地区 (城北、城西)	○指導体制：競技経験者8名(市職員5名、会社員2名、自営業1名)を配置 ○指導内容：リトルシニアの指導者を中心に、中学生選手を指定し、強化練習会を開催し、市外及び県外遠征等を行い強化、毎年リトルシニア大会に参加し北信越大会に出場している。
4	体操	24人 (40人)	主に大湊区	○指導体制：公認コーチの資格を所持しているコーチを3名、無資格のコーチを1名、計4名を配置している。 ○指導内容：上越体操協会の指導者を中心に、小中高等学校の児童生徒を育成強化選手に指定、強化練習会を開催し、ジュニア大会、中体連・高体連の大会に参加し、毎年全国大会に出場する選手を輩出している。
5	山岳	8人 (13人)	吉川区、大湊区、柿崎区	○指導体制：上級指導員の資格を所持している指導者1名、無資格の指導者5名の計6名を配置 ○指導内容：山岳競技協会の指導者を中心に、小中高等学校児童生徒を強化指定選手に指名し、強化練習会及び遠征を行い強化している。毎年全国大会に参加する選手を輩出している。
6	スキー	15人 (45人)	中郷区	○指導体制：競技経験者8名を配置 ○指導内容：小中学校のXC選手を強化指定選手に指定し、夏場のトレーニングを含め通年指導し、全国大会出場を果たしている。一昨年はジュニアXC大会で男子クラシカル1、2位になるなど実績を上げている。

(※1) 人数欄中、上段は「強化選手数(令和元年度)」、下段は「加盟団体登録人数(R2.4現在)」

施策 7-3 スポーツ環境の整備

■高橋委員■

【質問】 大きな施設も大事かと思うが、これからは各地域にある施設内にトレーニング設備（ランニングマシンやトレーニング用機器）等を完備していく必要があると思うが。

【回答】 専門のトレーニング設備を備えた施設は、市内に複数あることから、さらに拡充していく予定はない。スポーツ推進課としては、そういった設備のない地域の方々から筋力アップなどに取り組んでいただけるよう、自重トレーニングなどを取り入れた運動プログラムを開発・周知していきたいと考えている。

東京オリンピックパラリンピックホスト事業について

■土田委員、三浦委員■

【質問】 約1年間の延期となるオリンピック・パラリンピックについて、これまで上越市はドイツチームのホストタウンとして活動してきていますが、交流を絶やさずにいることが求められると思う。何らかのメッセージを送り続けるなど、できる範囲で交流を絶やさずにいること、人的交流が再開されことになった場合に、速やかに受け入れができるよう準備しておくことも求められていることだと思う。ホストタウンサポーターの方々も含め熱が冷めないように事業を継続していくことが大事だと思う。

【回答】 2021年に延期となった本大会に向け、ドイツの競技団体と合宿の日程調整などの協議を進めているほか、ドイツチーム及び市民が安心して当市における合宿等の交流事業を実施できるよう、国による新型コロナウイルス感染症対策調整会議等の動向を注視しながら新型コロナウイルス感染症対策についても検討している。また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、集客イベント等は実施できないものの延期となった期間を活用し、学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進、SNSによる情報発信、オンラインによる交流活動などを通じて、本大会に向けた機運をつなぐ取組を実施している。

上越市立上越体操場「ジムリーナのオープン」について

■春日委員■

【質問】 令和2年度の取り組みとして、上越市立上越体操場の活用があるが、オープン後に何回かトライアルイベントを開催しているが、上越体操場が市民全体に浸透していないように感じる。各スポーツクラブを中心に宣伝し、体験者を募り、メインの活用月を指定すると、より一層利用が増えるのではないかと。

【回答】 7月からジムリーナを会場に、トランポピクスやスローエアロビック、ノルディックウォーキング教室等を開催している。10月以降もスラックライン、チャレンジアクロバット教室等のほか、子ども向け教室としてキッズアスリート教室、さらには、生活習慣病の予防など健康増進を図る運動教室「J-Wellness」などを予定している。引き続き、ジムリーナを活用しながら、様々な教室等を計画し、ジムリーナの周知をするとともに、利活用を促していきたい。

その他について

■高橋委員■

【質問】 結果も重要だが思うように取り組めていない事業についても分析をしっかりと行ってほしい。また、教育現場の問題把握と改革の進め方において方針や目標を明確にしていく必要がある。

【回答】 取り組みが不十分な事業や思うような成果がでていない事業については、毎年度、成果や取り組み状況などを検証しながら、方針や目標を立てながら予算編成等を行っている。今後も、審議会の皆さんのお力をお借りしながら課題解決等に取り組んでいきたいと思っている。